

地域連携パス「私らしい暮らしの手帳」の紹介

筑紫地区地域自立支援協議会 地域連携部会

まずはお手元資料の確認から・・・

①手帳原本

「私らしい暮らしのシート」

「体調チェックシート」

「手帳のご説明」「同意書」



まずは書式を確認
してもらい、
イメージしやすく
してもらいます。

②手帳活用マニュアル

③PDF配布資料

地域連携パス「私らしい暮らしの手帳」とは

「私らしい暮らしの手帳」の説明です（webサイトより抜粋）

■地域連携パス＝障がい者の在宅生活における希望や困りごとに対し、必要な支援と連携を提供するものです。

■利用者の意思や行動に伴い、関係機関のスタッフが助言や連携に関するコメントをパスシートに記載します。

exp.就労訓練先や医療機関との連携など → マニュアルP5～8
→→ P3およびQ&A

■現時点では知的障がい者・統合失調症の方が主に活用していますが、すべての障がい者が対象ではありません。

パスでの連携が必要だと感じた利用者に対し、コミュニケーションのとれている施設や医療機関のスタッフが利用者と一緒に作成します。

■地域連携パスは利用者自身が所持しますので、いつでもシートを見直し、関係機関へ提出することが可能です。

地域連携パスを継続して活用することで暮らしや体調を整え、より充実した毎日を過ごすこと、また同時に関係機関の連携強化を目指しています。

地域連携パス「私らしい暮らしの手帳」とは

- exp.糖尿病などの身体疾患や歯科治療中など、複数の医療機関を受診している在宅利用者①どのような対象者に
②どのような目的で導入・活用が考えられるか
- 複数の障害福祉サービスや訪問看護、デイケアなどを利用し、多機関が関わりながら生活を支えている利用者
- 課題の解決や対処を行う上で、周囲の支援者による側面的サポートにより、自己理解を深められそうな可能性が感じられる利用者

コミュニケーションの補助ツール

関係機関同士の連携ツール

自分自身を振り返るためのツール

手帳を所有するAさんと
関係機関の連携イメージ図

外来通院中
A病院
精神科デイケア通院

関わる皆が目を通して記入
できる → 本人も安心感

**訪問看護
訪問介護**

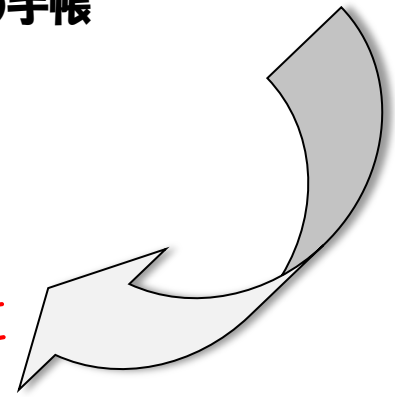
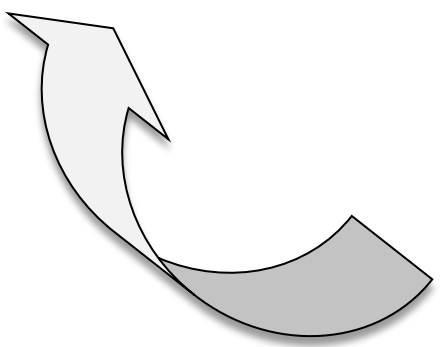
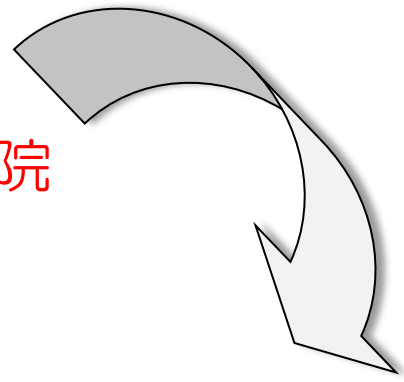
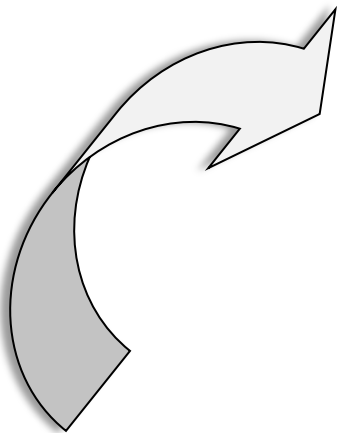
「自立した生活を
目指したい」



私らしい
暮らしの手帳

「仕事がしたい」
**就労継続
支援事業所**

糖尿病治療中
B内科
栄養コントロールと
適度な運動が必要



クリティカルパス

パスとはそもそも何なのか？についての説明です

- 医療・福祉分野では、質の高い医療や介護サービスを患者に提供する目的で作成する診療計画をさす用語として使われている。
- がん、脳卒中などの患者に対し、数年から10年程度の診療計画を作り、患者がかかりつけ医以外の医療機関、リハビリテーション機関、介護機関、薬局・薬剤師などを利用する際に、質の高い診療・検査を受けられるようにするねらいがある。
- 診療・介護・リハビリ機関などが継続してきめ細かな診療サービスを提供する地域連携体制の意味としても使われる。

「私らしい暮らしの手帳」作成の経緯

なぜ筑紫地区で地域連携パスの作成に取り組むことになったのか？経緯の説明

2011年に牧病院で退院支援パスを作成し、これをもとに在宅生活支援のためスタッフが地域連携パスを作成し法人内で活用していました。

次第にパスを使用している患者が他の医療機関・会社の産業医・法人外の施設に持っていき、医師からコメントをもらうようになりました。

2011年9月の筑紫地区地域自立支援協議会事務局会議の場で、特色ある取り組みとして地域連携パスを紹介したところ、他施設の代表者から「医療機関との連携に苦慮しているケースにぜひ使ってみたい」という希望があり、パスを使用してみることとなりました。

「私らしい暮らしの手帳」作成の経緯

2013年5月、自立支援協議会の下部組織として「地域連携パス部会」が設置され、2014年2月までに6回開催されました。

部会ではパス作成者が使用方法の説明や助言を行い、多施設でパスを使用した経過報告・パス書式の修正・マニュアル追加などを経て、2014年3月の自立支援協議会で「私らしい暮らしの手帳」の使用が承認されました。

地域連携パス部会は地域連携部会と名称変更し、パスの広報・普及を進めて行くこととなりました。

地域連携パス検討部会

地域連携パス検討部会の紹介



■筑紫地区地域自立支援協議会（4市1町）

2013年5月「地域連携パス検討部会」を設置

■モデルケースを通して「私らしい暮らしの手帳」を使用
1年度間を通して地域で共有できる地域連携パスを作成
することが目的

部会長：牧病院 牧聡先生

構成メンバー：

やまもも はまゆう つくしぴあ さるびあ作業所

みぎわ工房 和楽えのき 筑紫野市社会福祉協議会 介護保険担当

福岡県筑紫保健福祉環境事務所 健康増進課精神保健係

事務局：筑紫野市健康福祉部生活福祉課 障害者福祉担当

ピアツツア桜台

地域連携パス検討部会の経過説明

地域連携パス検討部会 平成25年度経過報告

第1回	平成25年5月30日(木) 14:00～	①自立支援協議会についての説明 ②地域連携パスについての説明 ③今後の進め方について
第2回	平成25年7月25日(木) 15:00～	①地域連携パスの取り組み状況について(ケース報告と協議)
第3回	平成25年9月26日(木) 15:00～	①地域連携パスの取り組み状況について(ケース報告と協議) ②地域連携パスの説明文についての検討
第4回	平成25年11月28日(木) 15:00～	①地域連携パスの取り組み状況について(ケース報告と協議) ②地域連携パスの説明文についての検討 ③部会構成メンバーの氏名掲載について
第5回	平成26年1月23日(木) 15:00～	①地域連携パスの取り組み状況について(ケース報告と協議) ②地域連携パスの様式、およびマニュアルについて ③次年度の取り組みについて
第6回	平成26年2月27日(木) 15:00～	①地域連携パスの取り組み状況について(ケース報告と協議) ②地域連携パスの様式、およびマニュアルについて ③次年度の取り組みについて

於:アシスト桜台 多目的室

→H26年度からは地域連携部会として・・・

ここからは活用マニュアルの残り部分を説明します

P 2 パス作成の流れ

P 3 パス作成の準備

P 4 同意書の紹介と説明

P 10 私らしい暮らしの手帳のご説明

P 1 最後にwebサイトの紹介と各書式についてはダウンロード可能であることを説明します

「問い合わせ先」について説明を忘れないようにします！



→全ての説明を終えたら、症例へ